

団体名・グループ名

おがきえ

愛知県刈谷市立小垣江小学校

第4学年「よみがえれ！小垣江ヘイケボタル」

審査委員の評価のポイント

ホタルの飼育からはじまり、ほたる池の整備、川の調査に広がっている。調査結果から自分達ができることを話し合い、いくつかのグループに分かれて活動を展開している点が高く評価された。活動4年目で地域との連携がとれ、地元の人から多く学んでいることも評価された。

活動の場所

・小垣江小学校と、小垣江小学校周辺
(小垣江公園ホタル小屋・折戸川・湧水池)

活動したこどもの人数

87名

活動したこどもの学年

4年生

活動継続年数

4年

主な受賞歴

なし

活動グループ(学校・団体)の紹介、活動頻度

本校は、刈谷市の南部に位置し、全校児童567人(20学級)の中規模校で、近くを折戸川が流れている。4年前、小垣江地区の緑と水を守る会(緑水保全会)からホタルを守る活動と呼ばかけられ、この活動がスタートした。しかし、地域の方と一つになって、活動をする事がなかなかできないのが現状であった。

今年度、初めて子どもたちと地域の人が「小垣江にもう一度ホタルを飛ばせたい」という同じ願いのもと、一緒に活動を行う事ができた。4月「学校でもホタルが飛ぶ所を見たい!」という子どもたちは、自分たちでホタル池を作った。そして、放流式、ホタルPR作戦、ホタル観賞会、川の調査、ホタル守り隊活動(ごみ拾い、川の清掃活動)など、子どもたちの思いや考えを大切にしながら、地域の方と一緒に活動してきた。今後も引き続き、折戸川の清掃活動や、子どもたちが考えたいろいろな方法で、環境を少しでも改善していきたいと考えている。

活動の概要(活動の経緯も含めてご記入下さい)

4月子どもたちは、「ホタルのために」折戸川の清掃活動をしている地元の人たちの事を知り、自分たちももっとホタルの事を勉強しなくてはという気持ちが強くなった。小垣江地区の緑と水を守る会(緑水保全会)の方からも教えて頂く事にした。そこで、「30年前の小垣江にはホタルが普通に飛んでいた事」を聞き、子どもたちは「自分たちもホタルのために、何かできる事をしたい」という気持ちを強く持ち、それ以降の活動へとつながった。

4月には、子どもたちと緑水保全会の人たちが協力してホタル池を作った。そして子どもたちがホタルについていろいろと学ぶにつれ、「ホタル活動を知ってもらいたい、ホタルの事を知ってほしい」という思いを持ち、全校児童、地域の人へのホタルPR活動を行ったり、子どもたちによる手作りのホタル観賞会を開いたりする事ができた。

ホタル飼育では、今年は5260匹の幼虫の孵化(去年は400匹)に成功した。子どもたちは、毎日飼育活動を行う中で、「折戸川では幼虫が育たないの?」という疑問を抱き、10月頃から「小垣江町にホタルは育つだろうか」というテーマのもと、調査を始めた。そして、「ホタルを守るためには、小垣江町をもっと良い環境にしないといけない、そのためにはどうしたらいいのだろう」と考え、調査結果をもとに何度も話し合いを行った。そして、ゴミ拾い隊・ザリガニ捕り隊・水をきれいにしたい隊・エサをふやし隊、子どもたちが考えた「ホタル守り隊」の活動が始まり、現在も活動を継続中である。

団体名・グループ名

刈谷市立小土垣江小学校

活動の場所（様子や環境など）

- 校内ホタル池（今までの観察池を新しく作り変えた）
- 折戸川
- 小土垣江小園（湧水池・ホタル小屋）

タイトル

よみがえれ！おがきえへイケボタル

活動を始めたきっかけ（興味を持ったことなど）

4月に「自然たんけん」で折戸川の近くをみんなで歩いていると、地元の人たち5～6人が川のそうじをしていました。

「どうして川のそうじをしているんですか？」と聞くと「ホタルのためだよ」と教えてくれました。

4月から学校でホタルのよう虫にカワエナをあげているけど、「当番だから…」という気持ちしかありませんでした。ホタルのために

がんばっている人たちがたくさんいるということを知って、もっともっとホタルのことを勉強して、ホタルのために何かしたいと思うようになりました。



地元のおじさんからホタルのことを聞いた

活動の目標（やってみたいと思ったことなど）

今の5年生から引きついだホタルのよう虫 400匹を今年よりもっとふやして4000匹にしたいと思いました。

系録水ほせん会のつるみさんが30年前の小土垣江にはホタルがふいつうにとんでいたと言ってくれました。そして、「もう一度小土垣江にホタルがふようになてほしい」という願いを聞き、自分たちもホタルのために何かをしたいと思いました。ホタルのよう虫が育つような折戸川や小土垣江町にするためにとみんなで「かんきょうのことを考えていきたいです」。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ホタル博士になろう

4月の「自然たんけん」で地元の人たちがホタルのために川のそうじをしているのを見て、自分たちももっとホタルのことを勉強しなくてはと思いました。ホタルのことを調べるために、本やインターネットで調べたり観察したことをクラスみんなで発表したりしました。



分からないことは
すぐに本で調べました。

学習目標 ホタルのよう虫を観察しよう

活動のあて ホタルのよう虫をよく見て
いろいろ発見しよう!!

足は6本、
① 前にしか歩かない。

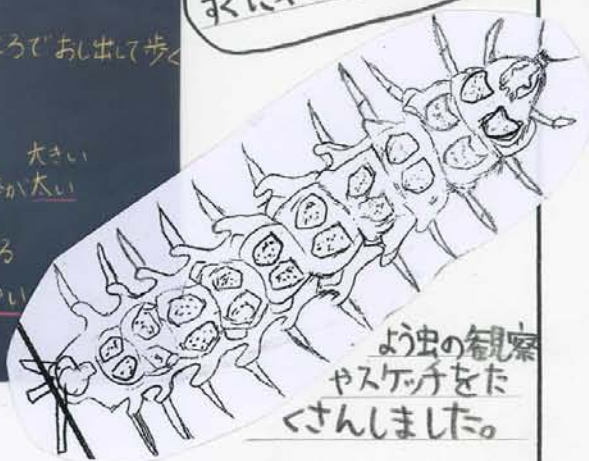
まるまる

体にぶつぷつもよう
黒、ほい

えら管
① われている
② カマエナ (は) → しびれさせる
えき

尾脚
① 歩き方
② いぼみみたいなところでおし出して歩く
③ 前後に動かす
④ くねくねさせる

頭は小さい 体は大きい
① 成虫と顔面がくさくさ
② 頭の上は赤、ほい



もっとホタルのことが知りたい・・・

ホタルの生活や 体のつくり、発光器のことなど、みんな少しずつわかってきました。が、ホタルがどうして小垣江からいなくなってしまったのか? という 答えは見つかりませんでした。

そこで、小垣江地区の系録と水を守る会(緑水保全会)のつる見さんにしつ問をしました。つる見さんは、農薬の問題、生活はいい水による水質の悪化、えさのげん少、用水路などがコンクリートで作られるようになったことなどが原因と教えてくださりました。でもつる見さんも実に調べたことはないとおっしゃっていたので、これから1年かけて自分たちでも調べてみたいなあと思いました。

もし、その原因が分かって、自分たちにやれることがあってかいぜんしていけば、もしかして小垣江にふたたび、ホタルが光る日がくるかもしれません。



つる見さん
とうとう
あきら
ました
さ。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

みんなの手で 夢のホタル池をつくらう

校内でみんなが見られるホタル池があったらいいな

↓
じゃあ、使っていない観察池をホタル池に

変えたら...??



も かい いは いの
ドロドロ 観察池



「ホタルのためにがんばろう」を
相言葉にどろみれになって
そうじをしました。

すっかりきれいになりました。



地元の方も助けをください
ました。ありがとう
ございました!



→ たくさんの人の手で
りっぱなホタルが完成!
あとは水を入れるだけ...♡

もうすぐ放流式...いろいろ準備をしなくちゃ

● かん板作り

自分たちがよう虫を放流する場所

(校内ホタル池、折戸川、小垣江公園ホタル小屋、湧水池)に他の人にも分かるように
かん板を立てることにしました。

このかん板には4年生全員の名前も書き、
自分たちの活動PRにもなりました。



● 家でも幼虫飼育

お家の人にもホタルのことを知ってもらおう
ということで、家でも幼虫を育てる子が
どんどん出てきました。

ホタルに関心をもってくれる人がちょっと
ずつふえてきてうれしかったです。



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ホタルとカエルの放流式・・・みんなの願いが届きますように

●4月26日 折戸川・湧水池・ホタル小屋へ放流

当日は、地元の方もたくさん見えて、みんなで放流しました。実行委員の子が司会をやってみんなでちかいの言葉を言いました。



●5月6日 校内のホタル池・ホタル小屋へ放流

お家の人もたくさん来てくれてみんなで放流しました。



〈ホタル日記より〉

- ・カップの中にはよう虫がびき入っていました。川の中に入れるとすぐ中にもぐっていきました。たくさんのがよう虫がせい虫になって光ってほいです。
- ・ホタルの放流式がものすごく楽しかったです。よう虫も光る・・・と聞いたので、夜見に来たと思います。おじいちゃんも来ていました。

お母さんから・・・
ホタルは見たことがあったけど、
よう虫は初めてみたので勉強になりました。

観賞会に向けて、みんな考えて工夫しました！

①ベンチ作り

ホタルの観賞会でおじいさん、おばあさんがホタルを見に来たとき、ゆくりと座ってもらえるようにベンチをみんなで作りました。

座ってもいたくないようにし、サリとヤスリをかけた。



ました。

使ってもらえて
よかったです。



②ミニ生態水そう作り

水そうの中に本物の池と同じようなくみを作ってカエルの放流しました。さなぎになる様子が観察できました。



みんなが座ってくれればいいなあ

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ホタルPR大作戦!...たくさんの人に広めたい

●全校のみんなへ

今まで自分たちが調べたことや勉強したことをもっとみんなの人に知ってもらいたいと思いました。さらにホタル観賞会のこともPRすることになりました。4年生全員がグループに分かれ、クラスにホタルのことをPRしました。分かりやすいようにクイズや写真をつかいながら発表しました。



全校のみんなへ

＜ホタル日記から＞

- ・今日、ホタルPR本番で、すごくきんちょうしたけど、みんなしんけんに聞いてくれたからうれしかったです。みんながホタルのことをよく知ってほしいです。
- ・1年3組でPRをしたとき、クイズを出すと、とても喜んでくれたのでよかったです。



地いきの人へ

●地いきの人へ

ホタル祭りが(5/5~6/6)に小垣江公園で開かれました。そのオープニングセレモニーで、私たちの学校がホタルPRをしました。たくさんの人が見ているので、すごくきんちょうしました。

＜地いきの人へのアンケートから＞

- ・ホタルの光はとてもきれいで、気持ちがいやされました。自分たちで行った放流や、お世話の様子も聞くことができたことです。
- ・予想以上にたくさんのホタルにおどろきました。先生や地いきのみなさんのご努力のおかげですね。子どもたち近くで見られたものですが、近いしうらい、小垣江がホタルの里になるかもしれないですね。



楽しそうにクイズに答えてくれました。
市長さんもみえました。

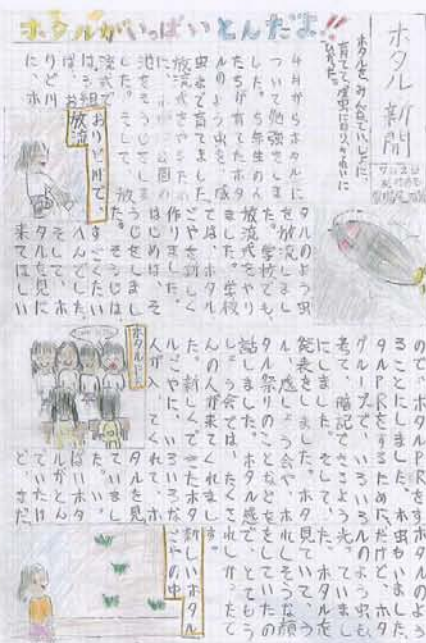
ホタルの幼虫の飼育活動...毎かんばってます!



やたー!5260匹のふ化に成功!

えさのカワニナも学校で育てていますか、なかなかうまくいかなかったりで、モノアラガイをつかまえてきたり、育てたりしています。

夏はクーラーの部屋に移動します



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

小垣江町にホタルは育つだろうか?...小垣江公園・折戸川の調査をしました!

各クラス3日ぐらいかけて調査をしました。小垣江公園と折戸川にホタルが育つかんきょうかどうかを調べに行くことになりました。折戸川にどんな生き物がいるかも調べたかったので、あみやバケツも持ていきました。調べたことを表やマップにまとめました。

	折戸川			湧水池	カワニナのせせりぎ
	上流	中流	下流		
COD	8	6	8	A B C 6 4 8	A B 8 6
カニナ	少ない	少ない	少ない	Cに多い	多い
様子	流れがおそい ものがたすぎる コンクリート	流れがふつう コンクリート	流れがおそい ものがたすぎる コンクリート	流れがは 上陸できる 土がある	流れが ちょうどいい 上陸できる 土がある
ごみ	大きなそだい ゴミがすて あった	あまりな たさんあった	あきカンが たさんあった	あまりない	あまりない
水生生物 のほ 外来種	うなぎ、ボラ、マハゼ、スジエビ ナマズ、ヌマエビ、ギンナ、 <u>ブルーギル</u> <u>ブラックバス</u> 、 <u>アメリカザリガニ</u> 、 <u>カサガ</u> ヨシノボリ、メダカ、コイオタマシロクシ ウシカエル、トサマカエル			<u>カダヤシ</u> <u>アメリカザリガニ</u> カワニナ	カワニナ



いろいろな生き物がいるね



カワニナ見つけたよ!

小垣江町にホタルは育つだろうか?
小垣江公園・折戸川の調査をしよう ②③

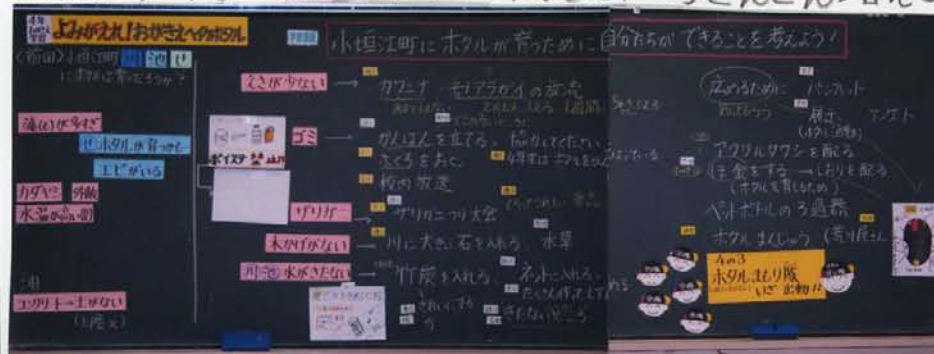


調査の結果から、自分たちができることを話し合いました。

“ホタルまもり隊”いざ出動!

ゴミ拾い隊・川のそうじ隊・ザリガニとり隊・竹炭入れ隊
ポスター隊・えさをふやし隊 これからどんどん増える予定です

みんなの調査を
マップへまとめました。



◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ホタル まもり 隊 いざ 出発! ホタルのために...

12月になてみんなで"ホタルまもり隊"(前ページ)の内ようを考
ました。2学期月もあと少しで"終わりなので"まず"はすぐ"にて"きることから
始めました。12月8日と12月15日の2日間小垣江公園と折戸川に出かけました。
系録水イ保ぜん会の人8人も8人ぐらい来てくださりました。



＜川そうじ隊＞
もがたくさん
おすぎたので
耳ヌりました。
川の流氷が
よくなりました。



＜ゴミ拾い隊＞
小垣江公園のとなり
に小さな林が"あて
そ大ゴミが"たくさん
ありました。金魚のパイプ
やゴムみたいなものや
かさのほねなど"が"
ゴロゴロしていました。
どうしてこんなところに
落ちているんだろう...?
川の中にはあきかんが
どろの中に何十個も
うまていました。



＜川の流氷調査隊＞
どのあたりが流氷が
はやいかを調べまた
調べるために舟を
イ作て川に流す作
を立てました。
この日は風が強すぎ
失敗しました。><



川の中はめっちゃめっちゃ

風が"強すぎ"て
ダメだ...

どろの中につまてはよめたかたです

＜ホタル日記より＞

ホタルのために水草をたくさん取りました。終わった
あと自分の体がものすごくドロドロでした。水から
出たらものすごく寒くて こごえそうでした。録水会
のおじさんが お湯をわかしてくれて あたたかかったです。
今日は、おじいちゃんに来て、川の中のゴミを
拾ってくれました。おじいちゃんも ホタルのことを
思っているんだなあと、うれしかったです。



● 3学期目にやりたいこと

ケ竹炭は水をきれいにする力があるということが"分かったので"ケ竹炭をまず作て
ふくろに入れて折戸川に入れてみたいで"す。
自分たちの力だけで"は、きれいにならないので"ポスターを書いたり、地元の人も
いしょにやてもらえようによびかけたいで"す。

こんなにたくさんのゴミが
あ、たよー。次はもと
ひろうぞー。

活動で工夫したこと、困ったこと

工夫したこと

- ・4年生全員でホタル池を新しく作りました。ずっと使っていなかったドロドロの池をみんなできれいにしました。緑水ほせん会の方もいっしょに手伝ってくれました。池のまん中を歩けるようにしました。
- ・ホタルかんよう会の前には、全校のみんなにクイズなどを入れて、ホタルのことをたくさん知ってもらえるようにPRをしました。ホタルのことがよく分かった「ホタルを見に行くな」と言われてうれしかったです。
- ・ホタルを見に来てくれたお年よりの人がゆっくり見ることができるようにベンチをみんなで作ることにしました。ベンチにすわって話をしているすがたを見て作はかったと思いました。

困ったこと

川の中やそのまわりのゴミを拾っていると、大きな粗大ゴミやどうやら分別したらしいのか分からないゴミがたくさんあって困りました。

活動で気づいたこと、感じたことやおもしろかったこと

・川にはもがないというのはいけないけど、たくさんありすぎてはダメということが分かりました。折戸川には、もががたくさんありすぎてみんなががんばってとたら、少し流れがよくなりました。

・川にはけっこう外来種の生き物がいるんだなあと思いました。折戸川のゴミ拾いをしているとき、ヌートリアの死体を発見した子がいてびっくりしました。



ヌートリアをつかまえたよ↑

・ホタル祭りには、遠くからホタルを見に来る人がいるんだなあということがアンケートから分かりました。昨年よりもずいぶんふえていて、ホタルは人気者なんだなあと感じました。

・川の中に入ることは今までほとんどなかったのに入るときにいろいろな発見をして楽しかったです。家に帰っておじいちゃんに話したら「昔はみんな川で遊んどったよ」と言われてちょっぴりうらやましかったです。おじいちゃんとホタルのことをいっしょに話ができ良かったです。



活動からわかった課題

校交内で「ホタルのよう虫を育てることは、人エ的にいいかんきょう（温度、水、えなど）をつくらなくて毎日きちんと世話をしていけば、増やしていけると思いました。でも折戸川で「ホタルのよう虫が育ていくためには水温、水、え、外気温などいろいろな問題をクリアしていけないといけないので「むずかしい」と思いました。むずかしいと思いましたが、「むずかしいけど、やれることから少しずつやっていくことが大切です。川のゴミ拾いをしていると「がんばってね」と声をかけてくれる人も出てきました。中にはいっしょにやってくれる人もいます。

自分たち、こどもホタルレンジャーにできること

ホタル活動を次の学年にしっかりと伝え引きついでもうえるようにしたいです。自然じょうたいではまだ「よう虫が育つかんきょうではないので」よう虫の数をいはいふやしていきたいです。今年は5000びきふ化させたので来年は6000びき目指してがんばりたいです。

ホタルのことをもっと多くの人に知ってもらうために全校の子や地いきの人にどんどんPR活動をしていきたいです。できるならホタルレンジャーに参加している他の学校の子とも友達になつてホタルの情ほうこうかんをしたいです。

大人の人と一緒に、改善していきたいこと

今は、4年生の地元の緑水ほそん会の人たちといっしょに折戸川や湧水池、小垣江公園のゴミ拾いをやっているけど、もっと地いきの人みんなとゴミ拾いをやっていきたいです。まだやらないけど、地いきの回らん板によびかけのたをいれようという案がでています。

もうすでに川の工事が終わってしまったところは仕方がないけど、できるだけいばうをコンクリートでかためないようにしてほしいです。ホタルのよう虫が上陸できなくなるからです。ホタルがすめるかんきょうをみんなで作っていききたいです。それはきっと人にもやさしいと思うからです。